

安全で安心にスポーツができる体育館・武道場の施設整備

(学 校 施 設 環 境 改 善 交 付 金)

令和2年度補正予算額：582,933千円

事業概要

現在、新型コロナウイルスが世界的にまん延(パンデミック)しており、公共施設をはじめ多くの施設が閉鎖を余儀なくされ、地域住民や子供の運動機会が奪われている状況である。体育・スポーツ施設の中でも、体育館・武道場は、地域住民と子供に運動機会を提供する上で重要な施設である。本事業は、今般の感染症による上記の状況に対応するため、体育館等において、換気扇・ファン・空気調和設備の必要な整備を支援するものである。

●新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(令和2年3月9日、19日)

…これまで、換気の悪い閉鎖空間で人が近距離で会話や発語を続ける環境、例えば、屋形船、スポーツジム、ライブハウス、展示商談会、懇親会等での発生が疑われるクラスターの発生が報告されています。…手洗いなどの基本的な感染症対策の徹底にもご留意ください。

クラスター(集団)の発生のリスクを下げるための3つの原則：1. 換気を励行する

●ポスト2020を見据えたスポーツレガシーの実現のための提言(令和元年12月3日、スポーツ議員連盟 スポーツレガシーの在り方に関する検討プロジェクトチーム)

熱中症対策のため、地域の体育・スポーツ施設における冷房設備の整備や気温の低い夜間での活動を可能とするナイター照明の設置等は急務である。スポーツ施設・設備の環境の整備により、プレイヤーの生命・身体の安全を確保できるだけでなく、地域住民への施設・設備の開放や、社会人のスポーツ実施率の向上、災害時の避難所環境の充実など効果も生じさせることができる。

●まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和元年12月20日、閣議決定)

スポーツを活用した経済の活性化:スタジアム・アリーナなどの集客力を有する施設を地域資源と捉え、施設に関わる多様な主体が一体となって、スタジアム・アリーナを核としたまちづくりに関する取組を支援する。

対象

全国の各都道府県・市区町村が所有する公立社会体育施設

整備内容

既存の体育館に対する換気扇・ファン・空気調和設備の整備のための改修

補助率： 1 / 3



(整備の一例)
換気扇の設置

